

<<注意報>><<注意報>><<注意報>><<注意報>><<注意報>>

28 農病防第 46394 号  
平成 28 年 9 月 6 日

各関係機関長 殿

香川県農業試験場病害虫防除所長  
(公印省略)

平成 28 年度 病害虫発生予察注意報第 8 号について

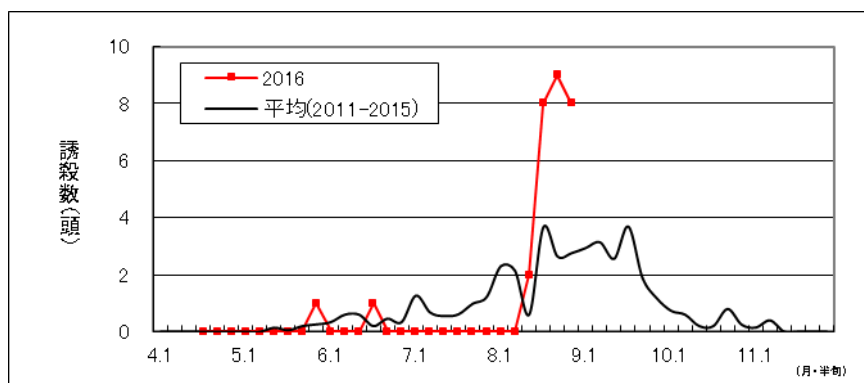
このことについて、次のとおり発表したので送付します。

平成 28 年度 病害虫発生予察注意報 第 8 号

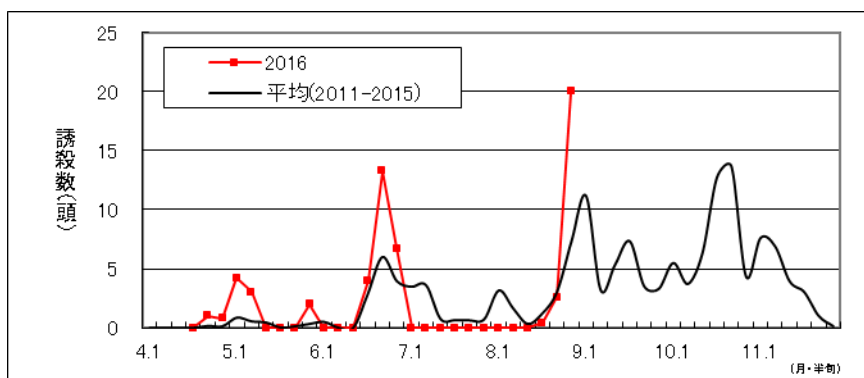
1. 病害虫名： タバコガ類 (タバコガ、オオタバコガ)
2. 対象作物： 野菜・花き類 (ナス、トマト、ミニトマト、ピーマン、オクラ、ブロッコリー、レタス、キク、カーネーションなど)
3. 発生が予想される地域： **県下全域**
4. 発生程度： **多**
5. 注意報発表の根拠
  - 1) 8 月下旬に実施した秋キュウリでの発生調査では、発生圃場率は 70.0% (平均：50.2%)、寄生虫数 10.1% (平均：2.8%) であり、発生量は多かった (第 1 表)。
  - 2) 綾歌郡綾川町のフェロモントラップによる 8 月のタバコガ雄成虫の誘殺数は 27 頭 (平均：14.1 頭)、オオタバコガ雄成虫の誘殺数は 23 頭 (平均：16.8 頭) と多かった (第 1、2 図)。
  - 3) 向こう 1 か月の気象は、降水量が平年に比べて多いものの、気温が高い予報であり、今後も発生が増加するものと予想される。

第 1 表 キュウリにおけるタバコガ類の発生状況

発生圃場率 (%)			寄生虫数 (頭/25 芽)		
年次	8 月下旬	9 月下旬	年次	8 月下旬	9 月下旬
2008	66.7	50.0	2008	3.5	2.2
2009	50.0	36.4	2009	2.3	3.8
2010	41.7	58.3	2010	2.0	6.1
2011	25.0	33.3	2011	2.0	7.5
2012	40.0	40.0	2012	5.0	3.3
2013	66.7	37.5	2013	3.2	1.0
2014	66.7	55.6	2014	1.3	1.2
2015	44.4	12.5	2015	3.3	4.0
2016	70.0		2016	10.1	
平均値	50.2	40.5	平均値	2.8	3.6



第1図 タバコガのフェロモントラップ誘殺数



第2図 オオタバコガのフェロモントラップ誘殺数



写真1 オオタバコガの幼虫

## 6. 防除対策

- 1) 老齢幼虫に対しては薬剤の効果が低いので、早期発見に努め、防除効果の高い若齢幼虫期に薬剤散布を行う。
- 2) タバコガ類の幼虫は、作物の果実や生長点付近の茎葉、花蕾に潜り込んで加害するので、その周辺を中心に幼虫を探して、見つけ次第捕殺する。
- 3) 被害果実、被害茎、収穫残さなどは放置せず圃場外へ持ち出して処分する。
- 4) 圃場内及び圃場周辺の雑草は増殖源になるので、除草に努める。
- 5) ハウス栽培の場合は、開口部を防虫ネット（4mm 目合以下）で被覆する。
- 6) 防除薬剤は香川県主要病害虫・雑草防除指針、地域の防除暦等を参考に選定する。
- 7) 一部の薬剤に対して抵抗性の発達が認められるので、平成25年度病害虫発生調査速報第5号 (<http://www.jppn.ne.jp/kagawa/>) 等を参考にする。
- 8) 作物によって、登録のある薬剤が異なるので、使用にあたってはラベルをよく読んで、登録の有無や収穫前日数、使用回数等使用基準を遵守する。